

遊びの中で生まれた“不思議”を探求。自主性と食への関心を育む取組

有限会社育成 育成保育園「野菜の種はどこにある？～子どもの“不思議”に寄り添って～」



遊びの中で生まれた食に関する子どもの”不思議”を、子どもたち自身が様々な体験を通して自主的に解決していく活動。

白ネギやカブの種はどこにあるのかという疑問をきっかけに、白ネギを包丁で切ったり、農家の人からもらった蕾のついたカブを育てたりと、職員や地域の人たちの協力を得ながら疑問を探求しています。

自然の面白さを体験し食への関心を高めることはもとより、子どもたちの自主性を育むとともに地域の人とのつながりを深めるきっかけとなっています。



五感を使って楽しく学ぶ活動

認定こども園 米子ナーサリー・スクール 「食育指導集会」

エプロンシアターやだしのうまみ体験、食べ物の匂や郷土料理など、各回テーマを定め、五感を使って楽しく食への体験を積み重ねられるよう、食育指導集会を行っています。

集会の様子や内容はおたよりを発行し、保育園と家庭が連携して子どもたちの食育を支え合い取り組んでいます。



鳥取県のこれからの食育で大切にしたい2つの基本指針

食のみやこことっとり～食育プラン（第3次）～（平成30年度～令和5年度）

豊かな人間性を育む食育
～「栽培・料理・共食」の実践～

食のみやこである鳥取県の
特性を活かした食育